

令和5年度 安来市立比田小学校 学校評価 まとめ

A:とてもあてはまる 4点 B:あてはまる 3点 C:あまりあてはまらない 2点 D:あてはまらない 1点
 ※中間値 2.5点
 ※得点は、全員の平均値
 ※(%)は全体でA Bのしめる割合

I 児童評価

	質問項目	得点	ABのしめる割合
1	毎日、家庭で決まった時間、学習に取り組んでいますか。	2.8点	56.5%
2	先生は、授業でよく分かるように教えてくれますか。	3.5点	100%
3	漢字を書いたり、計算したりすることに自信がありますか。	3.0点	69.6%
4	人の話をよく聞いたり、わかりやすく話したりしていますか。	3.5点	95.7%
5	マラソンやなわとびは、あなたの体力づくりに役立っていますか。	3.5点	91.3%
6	地域の様子を調べたり、外部の人から学んだりする学習は楽しいですか。	3.6点	100%
7	読み聞かせをしてもらったり、本を読んだりすることは好きですか。	3.5点	91.3%
8	毎日楽しく、学校に来ていますか。	3.4点	82.6%
9	何でも話せるなかよし友だちがいますか。	3.4点	95.7%
10	複式での生活や学習は、いいなと思いますか。	3.7点	100%
11	自分から元気よく、だれにでもあいさつしますか。	3.5点	95.7%
12	メディアの使用時間のルールを守っていますか。	2.9点	71.4%
13	先生は、自分のことをよくわかっていてくれると思いますか。	3.3点	91.3%
14	失敗をおそれずに新しいことやってみたいことにチャレンジしましたか。	3.4点	91.3%

(1) 特によかった項目 (3.5点以上かつ90.0%以上)

2「先生は、授業でよくわかるように教えてくれますか。」	3.5点	100%
4「人の話をよく聞いたり、わかりやすく話したりしていますか。」	3.5点	95.7%
5「マラソンやなわとびは、あなたの体力づくりに役立っていますか。」	3.5点	91.3%
6「地域の様子を調べたり、外部の人から学んだりする学習は楽しいですか。」	3.6点	100%
7「読み聞かせをしてもらったり、本を読んだりする学習は楽しいですか。」	3.5点	91.3%
10「複式での学習は、いいなと思いますか。」	3.5点	100%
11「自分から元気よく、だれにでもあいさつしますか。」	3.5点	95.7%

(2) 課題が感じられる項目 (3.0未満または、80.0%未満)

1「毎日、家庭で決まった時間、学習に取り組んでいますか。」	2.8点	56.5%
3「漢字を書いたり、計算したりすることに自信がありますか。」	3.0点	69.6%
12「メディアの使用時間のルールを守っていますか。」	2.9点	71.4%

(3) 児童 自由記述

- ・もっと話にくいことも話しやすいようにする
- ・学年関係なく仲良くなれば良いと思う。
- ・元気よくあいさつすること
- ・みんなで勉強することを多くすればいい。
- ・給食を班のみんなで食べたい

(4) 回答

- ・にこにこ集会など、全校でするといい活動は、今後も実施していきます。
- ・インフルエンザなどの感染症の予防や、食材の味をかみしめて食べるために、今後も今の給食スタイルでいきます。学期ごとになかよし班会食の日をつくりたい。

2 保護者評価

	質問項目	得点	AB のしめる割合
1	学級担任は、子どもの学習意欲や学力を高めるために、宿題や課題などを適切に与え、家庭学習が充実するよう工夫していると思われますか。	3.4 点	89.5%
2	お子さんは、授業が分かりやすく、楽しいと言っていますか。	3.3 点	100%
3	授業者は、子どもたち一人一人に目を向けた学習指導に取り組んでいると思われますか。	3.5 点	100%
4	お子さんは、「読む、書く」「計算する」などの基本的な学力が定着していると思われますか。	3.1 点	73.7%
5	学校の体力づくり（マラソン会、縄跳びなど）の活動は、子どもたちの体力の向上につながっていると思われますか。	3.5 点	94.7%
6	お子さんは、地域の様子や外部の人から学ぶ学習で、郷土について関心を高め、楽しく学習していると思われますか。	3.7 点	100%
7	お子さんは、本に興味をもって、本を読もうとしていますか。	2.8 点	60.0%
8	学級は、子どもたち同士の好ましい人間関係が育っていると思われますか。	3.4 点	100%
9	お子さんは、自分から元気よく、誰にでも挨拶ができていると思われますか。	3.1 点	84.2%
10	お子さんは、メディアの使用時間のルールを守っていると思われますか。	2.2 点	36.8%
11	学級担任は、家庭と密接な連携を図り、適切に対応していると思われますか。	3.4 点	100%

【No.12～No.14は、長子のみ、】

12	学校は、活動方針、学校や子どもの様子について保護者や地域へ伝えていると思われますか。（たより、行事、授業公開、懇談会、連絡帳や電話連絡をとおして）	3.6 点	100%
13	学校は、保護者や地域の方々と交流を深めるとともに、一体となって子育てに取り組んでいると思われますか。	3.5 点	93.8%
14	学校は、教育に適した環境（施設・設備）を整備していると思われますか。	3.4 点	93.8%

(1) 特によかった項目（3.5 点以上かつ 90%以上）

3「授業者は、子どもたち一人一人に目を向けた学習指導に取り組んでいると思われますか。」	3.5 点	100%
5「学校の体力づくり（マラソン会、縄跳びなど）の活動は、子どもたちの体力の向上につながっていると思われますか。」	3.5 点	94.7%
6「お子さんは、地域の様子や外部の人から学ぶ学習で、郷土について関心を高め、楽しく学習していると思われますか。」	3.7 点	100%
12「学校は、活動方針、学校や子どもの様子について保護者や地域へ伝えていると思われますか。（たより、行事、授業公開、懇談会、連絡帳や電話連絡をとおして）」	3.6 点	100%
13「学校は、保護者や地域の方々と交流を深めるとともに、一体となって子育てに取り組んでいると思われますか。」	3.5 点	93.8%

(2) 課題が感じられる項目（3.0 未満または、80.0%未満）

7「お子さんは、本に興味をもって本を読もうとしていますか。」	2.8 点	60.0%
10「お子さんは、メディアの使用時間のルールを守っていると思われますか。」	2.2 点	36.8%

(3) 自由記述

- ・男の子の多い学級なので、元気が有り余ることもあるようですが、これからも長い目での指導よろしくをお願いします。
- ・コロナも収まり、徐々に行事も再開されたので、これからも楽しく学び、いろいろな経験を積んでほしいと思います。
- ・学校(先生)と地域・保護者との距離感がコロナ前に比べると非常に希薄になっているように感じます。他の学校ではそれが普通なのかもしれませんが、少なくともコロナ前までの先生方は地域の方にも名前が知られるほど密着していたように思います。お忙しいかと思いますが、比田らしくもっと地域に開けた関わりやすい学校を今一度目指していただきたいです。

(4) 回答

地域との連携について

- ・今年度は地域へ出かけて行ったり、地域の方へ来ていただいたりして活動する機会が増えました。コロナ渦前のようにはない部分もあるかもしれませんが、「地域と連携・協働する学校」は、めざす学校像の一つですので、学校と地域が子供たちの成長のために連携・協働していけるような関係づくりに、今後も努めていきます。その際、活動のねらい等を地域の方へも事前にお伝えし、子供たちの成長に繋げていきます。

(5) 改善に向けて（児童及び保護者の学校評価を受けて）

- ①「自ら学び、考えを表現しようとする子」に関連して
 - ・学ぶ楽しさ、「わかる・できる」が実感できる学習指導の展開（授業と家庭学習の両方で）
 - ・進んで読書をしたり書籍を活用したりしようとする態度を育むための学校図書館の活用と読書活動の推進
- ②「認め合い、協力して行動しようとする子」に関連して
 - ・思いや考えを知り合ったり、共感し合ったりすることを通して、互いを尊重し合える人間関係づくり
- ③「進んで健康・安全な生活をしようとする子」に関連して
 - ・学級活動、保健指導等による、望ましい生活習慣づくりを図る指導の充実
- ④「信頼できる学校をめざして」に関連して
 - ・たより、ホームページ、授業公開、懇談会、連絡帳や電話連絡等による情報発信と意見収集
 - ・迅速かつ誠実な応対

3 教職員評価

I 学校経営構想 重点と具体的方策

得点 AB の割合

I 自ら学び、考えを表現しようとする子 「かしこく」			
(1) 学ぶ楽しさ、「わかる・できる」が実感できる授業の創造	①ねらいと学習の展開を明確にし、全員参加の授業を実践する。	3.3 点	100%
(2) 思考力・判断力・表現力の育成	①校内研究の主題「自分の思いや考えをもち、他者の思いを受けとめ自分の考えを深めようとする子どもの育成」につながる活動を、各教科等で計画的に取り入れて実践する。	3.3 点	100%
(3) ICT 機器の活用	①個に合わせた学習活動、論理的な思考を身につけるための学習活動に計画的に取り組む。	2.7 点	57.1%
(4) 基礎学力の定着	①漢字検定、計算検定、ぐんぐんタイムによる反復指導、補充的な指導等により確実な定着を目指す。	3.3 点	100%
	②個に応じた課題設定の支援と子どもの家庭学習を点検・評価することにより、家庭学習への意欲を高め、主体的に取組が継続できるよう支援する。	3.0 点	85.7%
	③「家庭学習の手引き」の説明により、保護者への啓発を行う。	2.9 点	85.7%
(5) キャリア教育の充実	①ふるさと教育（地域学習）の充実に向けて、生活科、総合的な学習の時間を中心にして、教科横断的な活動に計画的に取り組む。	3.4 点	100%
	②地域のよさや課題を知ったり、地域に貢献しようとする意欲を高めたりするために、小さな拠点づくり事業との連携を図る。	3.3 点	86.0%
	③キャリア・パスポートに記録を蓄積することにより、子ども一人一人が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるようにする。	3.0 点	85.7%
(6) 学校図書館の活用と読書活動の推進	①「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能の活用を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす。	3.3 点	85.7%
	②朝読書、読み聞かせ等により、読書活動を充実させる。	3.6 点	100%

2 認め合い、協力して行動しようとする子 「なかよく」			
(1)人権教育の推進	①達成感をもつことができる体験・経験を通して、自己肯定感、自己有用感を高める。	3.4 点	100%
	②他者からの評価による自他の認め合いを通して、一人一人の思いが大切にされ、お互いの支え合いによって活動したり生活したりしていることが実感できる集団を育てる。	3.3 点	100%
	③一人一人の心の耕しに向けて、道徳科を中心教科に据えた校内研究を推進する。	3.4 点	100%
(2)生徒指導の充実	①学級活動、児童会活動、学校行事において、子どもの自己決定や自主性と主体性を促すための支援を通して、自治力を育てる。	3.1 点	100%
	②子ども同士がつながり、安心して学校生活を送ることができる風土をつくるために、あいさつの活性化、ルールやマナーを大切にすることの意識化を図る。	3.3 点	100%
	③子どもと教職員、保護者と教職員の信頼関係を築き、日常生活に教育相談が進められる環境づくりに努める。	3.4 点	100%
(3)道徳教育の充実	①特別支援教育コーディネーター、学級担任、通級指導教室（南小学校）指導教員及び他の教職員との連携を図り、個に応じた指導と支援を組織的に行う。	3.4 点	100%
	②一人一人の違いや特性が認められる教育を進めるとともに、あおぞら学級を核に理解教育を計画的に行う。	3.4 点	100%

3 進んで健康・安全な生活をしようとする子 「たくましく」			
(1)基本的生活習慣の確立	①生活リズムチャレンジウィークの取組により基本的生活習慣の自己点検と見直しを行う。	3.1 点	100%
	②学年に応じた電子メディアとの適切な関わり方の指導により、メディア接触による健康への影響等の理解を進める。	3.1 点	85.7%
	③学校だより、ホームページ、学級だより、保健だより等により、食育、歯育、メディア接触等、健康・安全に関わる啓発を保護者に向けて行う。	3.7 点	100%
(2)体力の向上	①児童の実態を踏まえた体力向上推進計画をもとに、次の3つを計画的に行う。 ア 体育科の授業での運動量の確保	3.3 点	100%
	イ 朝の活動に行うマラソンやなわとびを通しての体力づくりの充実	3.6 点	100%
	ウ 休憩時間の外や体育館での遊びの励行	3.4 点	100%

信頼される学校をめざして			
やる気・勇気をもって 粘り強く チャレンジしよう		3.3 点	100%
(1)教職員一人一人が責任感と使命感をもち、学校運営に参画する。		3.1 点	100%
(2)学校力を向上させる。		3.4 点	100%
(3)地域とともに子どもを育てる。		3.0 点	85.7%
ワークライフバランスがとれている。		3.0 点	85.7%

(1) 特によかった項目 (3.5 点以上かつ 90.0%以上)

1 自ら学び、考えを表現しようとする子 「かしこく」

(6)学校図書館の活用と読書活動の推進

朝読書、読み聞かせ等により、読書活動を充実させる。

3.6 点 100%

3 進んで健康・安全な生活をしようとする子 「たくましく」

(1)基本的生活習慣の確立

③学校だより、ホームページ、学級だより、保健だより等により、食育、歯育、メディア接触等、健康・安全に関わる啓発を保護者に向けて行う。

3.7 点 100%

(2)体力の向上

イ朝の活動に行うマラソンやなわとびを通しての体力づくりの充実

3.6 点 100%

(2) 課題が感じられる項目 (3.0 点未満かつ 80.0%未満)

1 自ら学び、考えを表現しようとする子 「かしこく」

(3)ICT 機器の活用

①個に合わせた学習活動、論理的な思考を身につけるための学習活動に計画的に取り組む。

2.7 点 57.1%

4 学校関係者(学校評議員)評価(学校評議員会で出された意見 ○肯定的な内容 ●要望等)

○一人一人にかけてもらう時間が多く、ありがたい。

○地域と連携した取組に向けて意見収集を行うということだが、地域の声を聞いてもらうといい学校になっていくと思う。

○6年生の学習の様子を見てみると、1年生の頃からの成長を見られ、安心した。

●活字離れがすすんでいるので、子ども新聞を活用して活字を読む習慣がつくといい。

●メディアの時間に課題があるということだが、学校では道徳教育としてやっていてもらおう。制限などは親の責任となるので、PTA 研修会などを開催し、親子で聞ける機会をつくっていただきたい。

5 次年度の改善において

(1) 継続して大切にすること

- ・学校目標とのつながりを明確にして、「ねらい」と「育てたい力」を設定し、あらゆる教育活動を行う。
- ・教育活動の振り返りを確実に行之、改善につなげる。

(2) 改善を図ること

- ・経営の重点化と、具体的方策の見直し・整理を行う
- ・保護者、地域と連携した取組に向けて、情報発信と意見収集を行う。

6 改善の視点

(1) 人権教育の推進(進路保障に向けて)

- ・主体的に学ぶ意欲と態度を高める支援と確かな学力と豊かな感性を高める指導による、個と集団の「学びづくり」
- ・心身の活力を支える「くらしづくり」

(2) 生徒指導・特別支援教育の充実

- ・自己決定と共感的な人間関係の形成の場を大切に「仲間づくり」(集団づくり)

(3) キャリア教育の推進

- ・キャリア教育の視点からの地域学習の整理・精選
- ・保護者、地域への情報発信と意見収集